

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度 第2回 相模原市保健医療審議会		
事務局 (担当課)		健康福祉局 保健衛生部 地域保健課 電話042-769-9241 (直通)		
開催日時		令和6年12月3日(火) 13時30分～14時50分		
開催場所		WEB会議及び対面会議 総合保健医療センター A館7階 視聴覚室		
出席者	委員	21人(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	11人(健康福祉局長、保健衛生部長(兼)保健所長、医療政策担当部長、保健所副所長(兼)地域保健課長、他7人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可
		傍聴者数		0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 あいさつ 2 議題 (1) 相模原市保健医療計画(第2次後期)、第3次相模原市食育推進計画及び第2次相模原市歯と口腔の健康づくり推進計画の令和5年度実績について(報告) (2) 相模原市保健医療計画(第3次)に係る主な事業予定について(報告) (3) 相模原地域地域医療構想調整会議における病床整備事前協議結果について(報告) 3 その他		

議 事 の 要 旨

1 あいさつ

健康福祉局長あいさつの後、議題について審議した。主な内容は次のとおり。

2 議題

- (1) 相模原市保健医療計画（第2次後期）、第3次相模原市食育推進計画及び第2次相模原市歯と口腔の健康づくり推進計画の令和5年度実績について（報告）

【事務局説明】

議題（1）の3計画について、令和5年度の実績を報告。

【主な意見】

(小林委員) 数多くの事業に一生懸命取り組まれたことを評価させていただきたい。一点、保健医療計画の資料の中の区分について、周知や開催方法の改善等の工夫をされているのに「現状維持」とすると、改善がないように見えるので、例えば「継続充実」等の区分で分類してはどうか。また、「新規」や「新たな実施方法」等の記載がある事業については、「新規」「拡充」といった区分にしたほうが、現状に合うのではないかと。

(地域保健課長) 次の議題である第3次の相模原市保健医療計画においても、同様の区分表記があるため、これも含めて、いただいたご意見を参考に区分等の表現の見直しを検討させていただく。

(寺崎委員) 妊婦歯科健康診査について、令和5年度の妊娠届出数4,200件に対する健診受診率が5.1%であったことが「達成」とされているが、市民目線で見えた場合、果たして達成できたと言えるのか疑問が残る。計画の枠組の中での達成というのはわかるが、やはり妊婦歯科健診は、対象となる市民全体の人数からどれだけ健診を受けたかが重要であり、これを念頭に置くと、疑問に感じる場所。

(健康増進課長) 計画の進捗について、実情を適切にとらえるために、どの数値でいかに計測するかということは常に検討し続ける必要があると考えている。先の説明で触れさせていただいた妊婦歯科健康診査では人数でとらえてはいないが、国では今、歯周疾患の対象範囲を広げる動きもあり、そういったものについて関係団体の皆様とよく連携を取りながら調整を進め、取り組んでいく。

(寺崎委員) 承知した。実効性のあるものとして評価がされるようお願いしたい。

(土屋委員) 学校給食について、このところ給食事業を取り巻く環境がだいぶ変わってきていると感じている。食材の作り手の減少や事業者の縮小などさまざまな課題がある中で、今後どのように対応されていくのか、またセントラルキッチン方式へ

の移行などこれから大きな変化がある中で、市はどのような計画をされているのか伺いたい。

(健康増進課長) 現在、中学校を含めた学校給食の全員喫食について、施設の整備等の取組を進めている中、今後、地域で採れる食材の十分な確保にかなりの量が必要になってくるということは想定されているところであり、さまざまな工夫を凝らして取り組むものと認識している。

(2) 相模原市保健医療計画(第3次)に係る主な事業予定について(報告)

【事務局説明】

相模原市保健医療計画(第3次)にひもづく予定の事業について報告。

【主な意見】

(尾崎委員) 学校給食事業と中学校給食献立募集事業について、具体的な成果についてご説明願いたい。

(健康増進課長) 中学校給食献立募集事業については、技術・家庭科の授業の中で作った献立を、中学校給食として実際に提供している。

(健康増進課副主幹) 授業の中で募集した献立のうち、よいものについて、実際にその学校で献立として取り上げ、給食として提供している事業である。

(尾崎委員) 東京などでは、各学校の子どもたち一人ひとりが給食を作ってみるという取組があると聞いている。また、中学校ではさまざまな食材を並べて「こんな給食を作ったらどうか」「これを使ったらどんなお弁当になるか」などと話し合いながら献立を作る食育教育をしていると聞いている。それに比べると本市の取り組みはかなりプリミティブだと思う。学校給食は基本的に学校給食法に基づいており、それを十分に承知した上でどうシステムを作るか、また栄養教諭などとの連携の中でどう給食を作っていくかということが重要なポイントである。学校給食が一日で一番重要な食事となっている家庭も相当数存在する状況もあることから、学校給食を単に学校における一食といったふうにとらえるのではなく、深い意味を持って、これが命綱となっている子どももいるという事実を十分承知した上で事業を展開していただきたい。また、給食を通じた食育の中で、歯科との連携の一層の充実をお願いしたい。

(健康増進課長) これから部会等を組織して、検討を進める。

(寺崎委員) 事業の内訳を見ると、新規事業が14と増えているが、基本方針Ⅱの「身近な地域における医療体制」では新規事業は2となっており、今後高齢者の方が増えてくることが見込まれる中、新規事業がもう少し増えてもいいのではないかと思

う。コロナ対応にも一定の区切りがついてきている昨今、健康都市としてさらに躍進するためにも、新規事業をさらに増やしてはどうか。

(地域保健課長) 確かに、数字だけで見ると313件の事業のうち新規が14件となっており、非常に少ないように見える。今後、本計画に基づき事業を実施していく中で、事業の見直しが今後進み、数値も変わっていくことが見込まれる。引き続き委員や市民の皆様のご意見をいただきながら、見直しと充実を図ってまいりたい。

(3) 相模原地域地域医療構想調整会議における病床整備事前協議結果について (報告)

【事務局説明】

議題(3)の協議結果について内容を報告。

【主な意見】

(小林委員) 定量的基準が神奈川県から出て、急性期が278床不足していることを受け、実態に合わせた方向となったと受け止めているが、やはり回復期も依然として1,000床を超える不足数がある。統計上は現状こういうことであろうが、医療現場からすれば、急性期の病床が待たなしで必要とされていると聞いている。市が病床を公募するにあたり、高齢者救急に対応する病床を必要とするという結論の根拠として、例えば、地域医療の現場の状況として回復期も確かに不足しているが、将来的に介護や在宅医療との連携などを通して解決していくこともあり、差し迫って今、救急の高齢者の方の対応が十分でない、といったような整理を市として進めていただいたほうが良いのではないかと。現状では統計と結論が乖離しているような印象を受ける。

(医療政策課主査) ご指摘のとおりであり、統計上は依然として回復期病床のほうが大幅に不足している状況であるが、会議の中でも急性期の受け入れが十分でない中で回復期を増やしても意味がない、という意見があった。こうした状況については専門的な部分もあるため、今後、病床整備検討部会で議論しながら、より分かりやすい説明としてまいりたい。

(小林委員) 結論は医療現場の実情に詳しい専門家が協議の上で出したものであり、尊重している。実際に公募するにあたって、練度の高い根拠が必要ではないかという提案であり、引き続き整理をお願いしたい。

(土屋委員) 実際、我々が現場で感じているところとして、最近高齢者の方が増えてきている中、やはり若い方と比較して、どうしても急性期病棟にいる期間が長くなる傾向がある。現在、急性期病棟には、国の方針で看護必要度や重症度が認められ

ないとなかなか入れず、高齢者の方はそこから動けないという状況があって、それが病床を占めている。回復期病床に移るためにもいろいろな制約があり、それらが複雑に絡んだものが今の医療制度になっている。こうした中で、これは回復期、これは急性期と簡単に分けることができない状況では、やはり現場の肌感覚でやっていくしかない部分もあると思っている。根拠の数字を出すことについては、どこの地域でもそれを出すのが悩みどころであるため、今後も検討していきたい。

(堤会長) 今後、病床整備の諮問や答申に係る内容について、病床整備検討部会で検討することとし、今のご意見も含め、こちらで議論を深めていただきたい。

3 その他

【意見】

なし。

次回開催予定：令和7年3月ごろを予定

以 上

相模原市保健医療審議会 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠
1	阿部 徳子	(公社)神奈川県看護協会 相模原支部理事		出席
2	有馬 克治	(一社)相模原市獣医師会		出席
3	伊藤 吉美	相模原市健康づくり普及員連絡会 会長		出席
4	内田 善久	(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会 理事		欠席
5	内山 雅之	相模原市農業協同組合 専務理事		欠席
6	梅澤 慎一	(一社)相模原市医師会 副会長		出席
7	岡野 智博	相模原市P T A連絡協議会 会計		欠席
8	尾崎 哲則	(一社)日本歯科医療管理学会 理事長		出席
9	小林 輝明	(社福)相模原市社会福祉協議会 常務理事		出席
10	佐藤 克哉	(公社)相模原市薬剤師会 副会長		出席
11	佐藤 美登利	相模原市栄養士会 会長		欠席
12	新川 とし子	(一社)相模原市幼稚園・認定こども園協会 財務部員		出席
13	菅谷 貴子	(公財)相模原市勤労者福祉サービスセンター 常務理事兼事務局長		出席
14	助川 秀一郎	(一社)相模原市食品衛生協会 代表理事		出席
15	土屋 敦	(公社)相模原市病院協会 会長		出席
16	堤 明純	北里大学医学部公衆衛生学 主任教授	会長	出席
17	堤 ちはる	相模女子大学 栄養科学部健康栄養学科 特任教授		欠席
18	寺崎 浩也	(公社)相模原市歯科医師会 会長		出席
19	富樫 泰子	公募委員		出席
20	永井 清光	相模原市障害福祉事業所協会 総務		出席
21	野口 文乃	公募委員		出席
22	原口 あゆみ	(特非)神奈川県歯科衛生士会相模原支部 支部長		出席
23	原田 工	(一社)相模原市医師会 副会長	副会長	出席
24	福田 薫	(一社)相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
25	山本 登志弘	公募委員		出席
26	湯田 里子	相模原市食生活改善推進団体 わかな会 会長		出席